

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童・放課後等デイサービス あかとんぼ				公表日	8年 2月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	0	子どもが過ごしやすいスペースを確保している。	多動の児童の利用があった場合、他児との衝突なども考えられるためスペースの確保のための多対策が必要となってくる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	1	適切な職員が配置されている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	1	室内は段差もなくバリアフリー化もされている。窓も天井近くにあり、子どもの視覚領域の邪魔にならないよう工夫されている。	バリアフリー化もされているため過ごしやすい環境（空間）ではある。換気も常にされているのでこのまま継続していく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	0	①子どもたちがのんびりと過ごせるように設計されている。②感染予防のために消毒や換気などを定期的に行っている。	カーペット等も敷いてあるため、心地よく過ごせる環境ではあるが、現在はないが失禁等があった場合は交換が必要となるので対策を考えていく必要がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	0	ドアで仕切られた部屋で個別で使用する場所もある。	現状は、1日の利用者数が少ないが今後の利用者の増員があった場合には検討していく必要がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	0	朝礼時や個別支援会議時にスタッフ同士で意見を出し合っており、振り返りや目標設定に参画している。	参画できるような機会を少しでも多くとる必要がある。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	今回が初めての評価になるので、評価内容を従業員間で共有し業務改善につなげていく。	今回の評価を見て、今後の支援などに生かしているように話し合う時間を設ける必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	朝礼時や個別支援会議時にスタッフ同士で意見を出し合っており、振り返りや目標設定につなげている。	今後も継続していく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	2	第三者による外部評価体制を整えているが、まだ実際に第三者評価を行ったことがない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	外部研修や法人内研修は積極的に参加する機会の確保を行っている。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	0	ホームページ上に公表している。		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	0	契約時に、放課後等デイサービス計画の作成に必要な意向を確認する紙面を用いて確認を行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3	0	個別支援計画作成時に児発管と職員間で記載内容について情報共有を行っている。	今後も継続していく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	0	職員間に共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	課題プリントなどを用いて確認を行っている。	今後も、行動など気を付けて観察していく必要がある。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	1	個々の子どもに対して、その都度評価を行っていく必要がある。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	0	チームで行っている。	今後の子どもの成長にあわせて、活動内容を年齢に合わせたものにしていく必要がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3	0	季節の行事などを取り入れて、固定化しないようにしている。	今後も継続していく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3	0	保護者との面談のもと、作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	0	朝礼時に確認・共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	当日に振り返りができない場合は、翌日の朝礼時に必ず振り返りを実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	個別支援記録に記載し、通常と違った内容については朝礼時などに振り返りを行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	個別支援会議等を通して、モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	3	0	屋外活動も社会交流の一環として、定期的に行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	0	活動の中で、自己選択ができるような活動（駄菓子屋さん）などを通じて行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	0	送迎時に学校や家族からの情報共有を密に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	0	現在、対象者はいないため必要に応じて行っていく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	2	現在、対象者はいないため必要に応じて行っていく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	現在は対象者はいないが、必要に応じて行っていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	3	現在は実施していない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	3	現在は実施していない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	送迎時に行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	3	現在は実施していない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に保護者に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	0	機会を設けて行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3	0	計画作成後、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3	0	必要に応じて、行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	3	現在、そのような機会はないが必要に応じて行っていく。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	職員同士で共有を行い、対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	3	0	ホームページやInstagramなどを通して、子どもや保護者に対して発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	施錠できる棚にて保管を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	特性や発達状況に応じて、課題のプリントなどを準備している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	3	現在、行っていない。	保護者などから要望があれば行っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	0	実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	0	施設見学時や契約時に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	1	現在、対象者はいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	作成し、行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	0	契約時に説明を行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	朝礼時など、職員が集合できる時等を利用して周知している。 内容等も確認し、検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	法人内での研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	1	2	実施する場合には、ご家族に説明・同意を得たうえで検討していく。		